

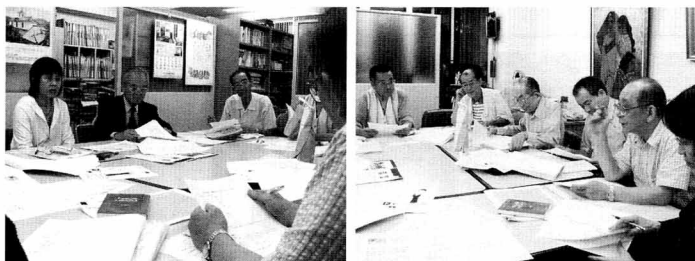
## 編集後記

●飯田高校卒業生は多士済々、まさに人材の宝庫だと感じている。「稲穂」でどれだけ汲み上げ、紹介できるか？ 楽しみたい。(かなだ)  
 ●より若い、エネルギーシユな編集スタッフの誕生。それが本誌の生長につながる。それを待つて老兵は消えるのみ。(林)

●いまだき会議舞台使用料ロハ！ なんて。そんな稀有に恵まれて2号誕生。作業後の小宴は欲談尽きず。平田座長に黙々感謝。(牧生)  
 ●2号では広告担当。多くの方からご協力をお願いいただいた。心から感謝。母校の卒業生がいかにか社会的に活躍しているかの証左と思う。(O)  
 ●ブルーベリーにかまけて、あまり戦力にならず、すみません。発送でその分取り返したいと思います。(I生)

●名簿の整理は大仕事でした！ 連日キーボードとの格闘。まだ漏れも多いと思います。ぜひ情報をお寄せください。(南無三寶)  
 ●多くのみなさまから、今号への広告掲載をご快諾いただき、おかげさまで満稿となりました。ありがとうございます。(亀井)  
 ●胡瓜の粕もみ喬木の蒟蒻、左手には吟醸酒。華やぐ伊那谷文化の談論風発。編集会議の後の一席。ごちそうになります。(ざわざわ)

●話題豊富な楽しい編集会議でした。いろいろな方に参加していただきたいと思えます。(K)  
 ●汲めども尽きない故郷の豊かさに、今年も圧倒されました。持つべきものは良き友、佳き故郷、よき女房ですね、本当に。(S・S)  
 ●更にパワーアップした「稲穂」、その制作現場にいられてとても意義でした。編集委員の皆さん、ほんとにありがとうございます！(M・S)



今年の編集会議は平田会長の事務所をお借りして……。会議の後もお楽しみ。故郷の味、故郷の話に堪能しました。

## お問い合わせ先・「稲穂」編集部

一六〇〇一四 東京都新宿区内藤町一六  
 御苑ハイツ五〇七(株)デザイン F F内  
 電話 〇三三三三三二一五七六八  
 FAX 〇三三三三三二一五七六七  
 E-mail: KYX06762@nifty.com

●一騎当千のプロフェッショナル集団に紛れ込んだ凡骨老年が、うるうるしているうちに、充実の第2号が出来上がった。卓抜この上なき先輩諸兄姉の献身的ご努力に、ただただ脱帽するのみである。(今川)

## 「稲穂」第二号

発行 在京飯田高校同窓会

事務局

(T10110047)

東京都千代田区内神田

一八一二一 星徳ビル2F

本島信法律事務所

電話 〇三三二七〇六六六

発行日 二〇〇五年十月一日

発行人 平田 達

編集委員 金田明夫(編集長)

林 京平 井伊健夫

牧内雪彦 福澤郁文

今川雅晴 黒柳文子

岡村隆臣 清水茂則

福沢里次 三ツ橋史緒子

久保田実 永澤礼子

亀井繁男 榊原雅直

福島茂喜

印刷設計 福澤郁文 高田真貴

印刷製本 (有) 青林社